

シモヒガ140新聞の作成と発行

シモヒガ140

▶担当 永谷咲子

事業目的・背景

下京区の区政140周年記念を契機に地域団体や大学と協力し、京都市立芸術大学の移転に際して東部エリアの賑わいを創出し、住民同士の繋がりを支援する。

事業概要

シモヒガ140新聞の取材と発行

活動期間

下京区の東部エリア(主に菊浜学区・崇仁学区・有隣学区)においてモノづくりやカフェを営む若手事業者が集まり、下京区の区政140周年記念を契機に地域団体や大学と協力し、京都市立芸術大学の移転に際して東部エリアの賑わいを創出し、住民同士の繋がりを支援していくために組織し活動する。

平成31年4月1日設立

成果

古くから地域にお住いの住民の方や商店の方を取材してもらったことで、世代を超えたつながりが出来た。モノづくりやカフェを営む若手事業者という特性を活かした取材が出来たことと、京都市立芸術大学大学院美術研究科と第32棟美術室と連携したことで、今までにないデザイン性に富んだ地域新聞になった。

今後の予定

町家が失われ、ホテルが乱立し、町の空洞化がすすみ、地域住民が暮らしにくくなっている。地域コミュニティを維持することを念頭に、私たちにできること、例えば「困ったらこの子たちに相談すればいい」という地域の若い力になりたい。



シモヒガ新聞

下京区の東部エリアの学区の方を取材させていただきました。



シモヒガ140のメンバーのお店にも置きました。学区を知らない若い世代にも覚えてもらえるよう、編集には工夫を凝らしました。



「船はしや」さんを囲んでの取材風景。常に楽しく、打ち解けあう取材をということで、この日はメンバー全員が集まり、お話を聞きました。